



研究の現場から

モラロジー研究推進プロジェクト

幅広い対話と考察を通じてモラロジー・最高道德の深化・発展をめざす

道德科学研究所 副所長
モラロジー研究推進プロジェクトリーダー

みやした なずひろ
宮下 和夫

四月から新たにスタートしたモラロジー研究推進プロジェクトは、廣池千九郎が創始した学問としてのモラロジー、および廣池千九郎が提唱した最高道德に関する研究の深化・発展を推進するプロジェクトです。

大正十五年に道德科学研究所(現・モラロ



新版『道德科学の論文』(別巻を含む全11冊)

ジー道德教育財団)を創立した廣池千九郎が、新科学としてのモラロジーを創建し、最高道德論を提唱してからすでに長い年月が経過し、その間に社会は大きく変貌を遂げました。廣池千九郎が置かれていた歴史的・社会的状況と私たちが生きている現在の社会的状況とは大きな相違があり、また、創立者在世時には存在しなかった事象や道德上の課題も数多く生じています。創立者の提起したモラロジーや最高道德論を現代および未来にどのように運用するかということが、まさに問われているわけです。答えはまだありませんし、一つではないかもしれません。しかし、今こそ、各人の応用の智慧を収集し、共有して、モラロジーおよび最高道德を深化・発展させる時期なのではないでしょうか。

モラロジー研究推進プロジェクトでは次

の三つの内容を掲げています。

- (1) 廣池千九郎が創始したモラロジー・最高道德の研究の深化・発展をめざし、現代の倫理道德研究と協働して現代および未来世代の安心・平和・幸福を促進する道德的基盤を探究する。
- (2) モラロジー・最高道德に基づく教育の深化・発展のための研究を通じて道德教育の充実に貢献する。
- (3) 廣池千九郎の事跡と思想の研究を行う。

これらの実現に向けては、研究・教育・実践を跨いだ幅広い議論と対話が必要となり、また、一人ひとりがモラロジーおよび最高道德の本質的理解を深める必要があります。モラロジーおよび最高道德の世界が末広がりな豊饒となるよう、皆様のご協力を仰ぎながら研究を推進していく所存です。よろしくお願いたします。